

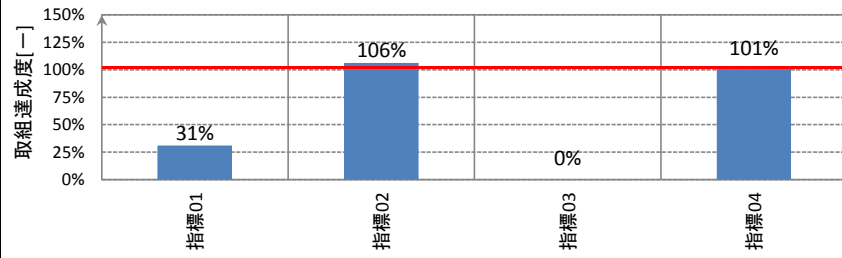
北海道 下川町

人口:3,445人(平成27年3月末現在)  
世帯数:1,787世帯(平成27年3月末現在)  
就業人口:1,932人(平成21年)、町内GDP:215億円(平成21年度)  
面積:644.2km<sup>2</sup>(うち森林面積569.8km<sup>2</sup>)

取組進捗評価結果(都市による自主評価に基づく達成度)

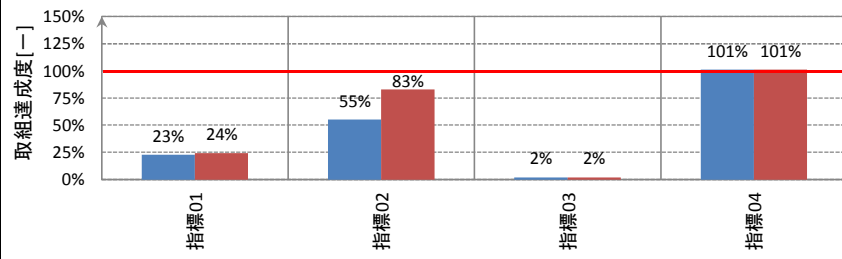
Q1. 環境的価値

1年毎の目標値に対する達成度



4年目の達成度平均 **59.5%**

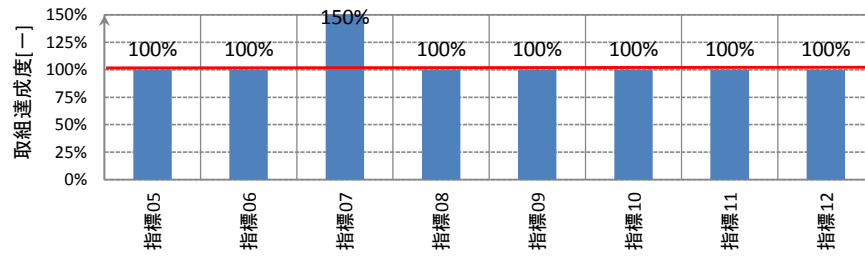
5年後の目標に対する達成度



4年目の5年目標に対する達成度平均 **52.5%**

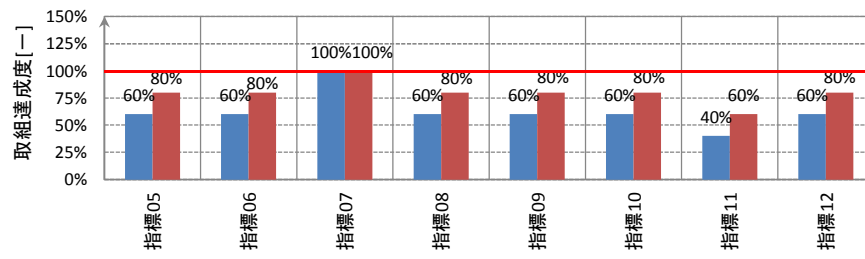
Q2. 社会的価値

1年毎の目標値に対する達成度



4年目の達成度平均 **106.3%**

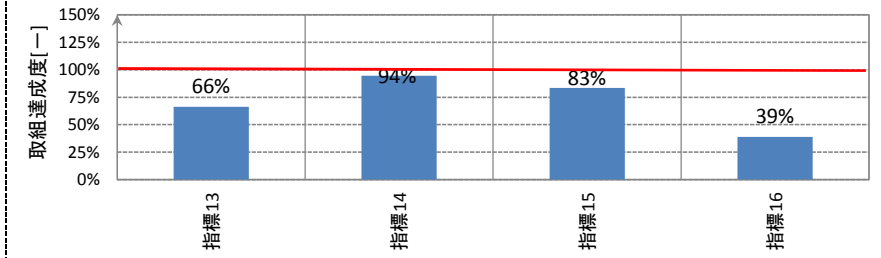
5年後の目標に対する達成度



4年目の5年目標に対する達成度平均 **80.0%**

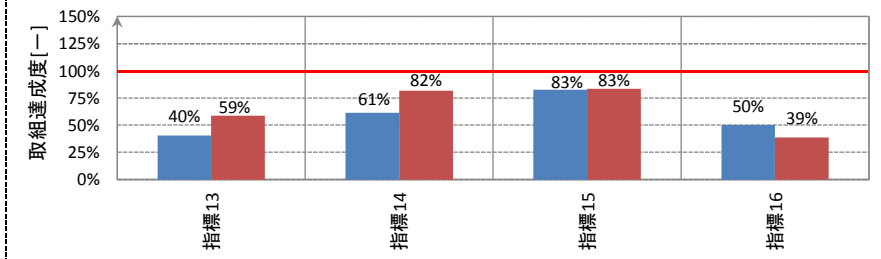
Q3. 経済的価値

1年毎の目標値に対する達成度



4年目の達成度平均 **70.5%**

5年後の目標に対する達成度



4年目の5年目標に対する達成度平均 **65.8%**

Table with 2 columns: 指標番号 (Indicator No.), 指標名 (Indicator Name). Lists 16 indicators from energy self-sufficiency to wood production efficiency.

Q4. 特記したい事項(国際展開・都市間連携等)

高知県橋原町、熊本県小国町と「持続可能な小規模自治体アライアンス」を平成3月24日に締結した。この連携をもとに、3時間で地域の課題解決に向けた情報交換等を行い、環境・エネルギー、農林業、少子高齢化などあらゆる分野において町民との協働による魅力的な暮らしの実現に向けた連携関係を構築する。

東京港区、神奈川県横浜市(戸塚区)、京都府京丹波町と経済交流・シニア世代交流・子供交流を行った。平成27年度からは環境モデル都市の岐阜県御嵩町とも子供交流を新たに開始した。

モンゴル・ボリビアをはじめとして移住展開に係る調査を行うとともに、先進地のJICAをついで上国視察研修生の受入などをおこなった(海外からの視察者平成27年度99名)

平成27年度の取組総括

森林総合産業について
一定の成果が出ており、順調に進んでいる。先進的林业機械の導入、バイオマスボイラーの導入、小学校の木質化など事業が進捗している。
超高齢化について
見守りシステムの計画目標台数を整備し運用を開始している。
エネルギー完全自給について
平成25年度は熱電併給や地域熱暖房の調査事業を主に行った。
複合的な取組み
一の橋地区の集住化モデルによりエネルギーコストの低減や、高齢化対策、産業創出など一定の効果がみられている。

委員からの取組全体に関する評価

○他の地方自治体とのパートナーシップの構築も含め、小規模な環境未来都市としてユニークな取組を行い、十分な実績が上がっている点を評価する。
○エネルギー自立に向けて非常に戦略的に取組が進められていることを評価する。
○森林文化創造が下川町の将来への発展に向けての鍵と認識した。素晴らしいエネルギーシステムも人が使ってこそ、人がいなくなれば意味を為さなくなることからも、森林文化創造を発信するシステムを内側の視点ではなく、外側からの視点で検討し、都市部でのPRやITを用いた展開を期待する。